

TGR TEAM KeePer CERUMO

2026 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

第2戦 富士スピードウェイ

KeePer CERUMO GR Supra

#38 大湯都史樹／小林利徠斗

◆5月4日（月・祝） RACE

決勝結果 13位

予選4番手と惜しくもポールポジションには届かなかったものの、3時間の決勝レースに向けて好位置につけることができた TGR TEAM KeePer CERUMO。明けた5月4日（月・祝）の決勝日、事前の天気予報では雨の予想もあったものの、荒天は夜半のうちに過ぎ去り、晴天に恵まれた。ただ、非常に風が強い状況で、午後2時から始まった決勝レースは気温24度／路面温度43度というコンディションとなった。



5万300人という大観衆が見守るなか、KeePer CERUMO GR Supraのスタートドライバーを務めたのはGT500クラスでは初めてのスタート担当となった小林利徠斗。大きなプレッシャーがかかるシーンではあるが、きっちりとスタートをこなすと、まずはオープニングラップを4番手で終え、前を走る#23 Z NISMO GT500をピタリと追っていった。



小林は7周目にGT300クラスの集団が前に出はじめるも、これもしっかりと処理。周囲にGT300クラスの車両がいなくなると、#23 Z NISMO GT500とのギャップを縮めていった。隙あらばオーバーテイクをみせるチャンスも十分にある。小林は機をうかがい、14周目のパナソニックコーナーで#23 Z NISMO GT500のインを狙った。

しかし、ここで小林はわずかに挙動を乱してしまい、#23 Z NISMO GT500の



TGR TEAM KeePer CERUMO

リヤにヒットしてしまった。#23 Z NISMO GT500 はたまらずスピンを喫し、これで小林にはドライブスルーペナルティが課されてしまった。26 周を終え小林はペナルティを消化すると、11 番手でコースに復帰。33 周目には #19 GR Supra をかわし 9 番手に戻すと、43 周を終えピットイン。ファーストスティントを終えた。



ここでチームは迅速な作業をみせ、先にピットインしていた #39 GR Supra を先行するなど、小林から交代した大湯都史樹を後押しする。大湯もその仕事ぶりに応え、43 周目に #37 GR Supra のストップにより導入されたフルコースイエロー (FCY) の後、追い上げを開始。5 番手を走る #16 HRC Prelude GT を追っていた。

大湯はその後も粘りの走り続け、71 周を終え二度目のピットインを行ったが、その後序盤の小林のスティントで接触した際の左フロントのダメージが大きくなりはじめてしまった。大湯は #16 HRC Prelude GT を先行していたものの、84 周目には後方から近づいた #16 HRC Prelude GT、#24 Z NISMO GT500 の先行を許してしまうことに。左フロントタイヤにカウルが干渉してしまっており、ペースダウンは避けられなかった。



その後も 86 周目には、大湯は #12 Z NISMO GT500 の先行をあっさり許してしまい、これ以上はコース上には留まれないと判断。そのままピットインした。チームはピットレーンでガムテープを使い KeePer CERUMO GR Supra の補修を行ったものの、再コースインは叶わず。昨年優勝を飾った第 2 戦富士は、KeePer CERUMO GR Supra にとって悔しい一戦となってしまった。

着実なスピードはある。しかしそれを結果に結びつけ、表彰台の頂点を得るためには確実に相手を制し、KeePer CERUMO GR Supra を無事にフィニッシュ



TGR TEAM KeePer CERUMO

に運ばなければならない。この悔しさを晴らすためには、今回得た多くの経験を活かし、結果を残すしかない。2026年のSUPER GTはしばらくインターバルがあくが、ふたたび富士スピードウェイで行われる8月の第4戦で、TGR TEAM KeePer CERUMO はリベンジに臨む。

ドライバー／大湯都史樹

「決勝レースでは第2スティントから担当することになりましたが、はじめは耐えることができていたものの、どんどんクルマの状態がひどくなり、第3スティントではSUPER GTのスピードで走ることができなくなっていました。その要因となったのは、小林選手が



接触してしまったところから始まっているのですが、GT500クラスのクルマはちょっとした接触に対してもシビアですし、走るほどにダメージが広がってしまうところもあるので、仕方ないと思います。小林選手は攻めたからこそああいうアクシデントになったと思いますし、自分の中で改善する糧になってくれれば、僕としてはそれで良いと思います。今は落ち込んでいると思いますが、これを経てもっと強くなってほしいと思います。あのまま23号車を抜かないままでいたら、もっと首位との差も広がったでしょうし、うしろから抜かれていた可能性もあったわけですからね。僕としては残念ではありますが、相方の成長も感じられたレースであり、チームがまた強くなり、もっと強くなるだろうと感じられた一戦でした。だから次に向けてはすごくポジティブですね」

ドライバー／小林利徠斗

「初めてのスタートを担当しましたが、パレードラップからフォーメーションラップの2周でしっかりタイヤを温めることができましたと思います。これまでテストではタイヤのウォームアップが課題だったのですが、レースのスタートから抜かれず、むしろ前を詰めていくことができたので、その点は良かったです。その後もペースが良かったですし、自分のクルマのマネージメントもできていました。集団をオーバーテイクし



TGR TEAM KeePer CERUMO

て少しレースも落ち着いたので、前に行く 23 号車に仕掛けようと思ったのですが、最終コーナーで僕がラインを変えて、ブレーキを踏んだところで姿勢を乱してしまって相手をスピンさせてしまいました。クルマも、相手も悪くない、完全に自分のミスでした。23 号車にも申し訳なかったですし、自分としても不本意な結果になってしまいました。その後はずっとペースも良かったですし、クルマのポテンシャルの高さを感じていました。好結果が狙えるレースだったのに、こういう結果になり悔しいです。次戦はまた違ったレースにしたいと思います」

立川祐路監督

「序盤の接触については、若さが出てしまいましたね。接触してしまった 23 号車に対して申し訳ないことをしてしまいました。完全にこちらが悪かったと思います。もちろん小林選手については、ミスは仕方がないところがあります、チャレンジした結果ですし、誰し



もが通る道だと思っています。これを糧に、今後に活かせるようにしなければいけません。その後も走り続け、クルマ自体の調子も良かったですし、大湯選手のペースも良かったので、最後まで追い上げれば上位に戻ることもできているのですが、接触の影響でダメージが大きくなり、走り続けることができなくなってしまいました。その点は非常に残念ですね。ただ今季の調子は良いので、チーム一丸となって、第 4 戦で取り返しにいきたいと思います。応援ありがとうございました」



TGR TEAM KeePer CERUMO



TGR TEAM KeePer CERUMO

決勝結果

Rank	Car No.	CarName	Lap	Diff
1	36	au TOM'S GR Supra	115	
2	14	ENEOS X PRIME GR Supra	115	8.786
3	23	MOTUL Niterra Z	115	41.398
4	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	115	42.460
5	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	115	54.657
6	24	REALIZE CORPORATION Z	115	55.127
7	12	TRS IMPUL with SDG Z	115	1'23.351
8	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	115	1'31.568
9	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	114	1Lap
10	19	WedsSport BANDO H GR Supra	114	1Lap
11	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	114	1Lap
12	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	112	3Laps
13	38	KeePer CERUMO GR Supra	86	29Laps
	37	Deloitte TOM'S GR Supra	46	69Laps



TGR TEAM KeePer CERUMO

ポイントランキング

Rank	Car No.	CarName	Point
1	36	au TOM'S GR Supra	40
2	14	ENEOS X PRIME GR Supra	24
3	38	KeePer CERUMO GR Supra	16
4	12	TRS IMPUL with SDG Z	15
5	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	14
6	23	MOTUL Niterra Z	14
7	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	11
8	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	7
9	24	REALIZE CORPORATION Z	7
10	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	3
11	19	WedsSport BANDO GR Supra	1
12	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	0
13	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	0
14	37	Deloitte TOM'S GR Supra	0

